

みんなが主役の 崇仁のまちづくり



平成 8 年 11 月 22 日 撮影

崇仁まちづくり推進委員会

住民による新しいまちづくりが進み出しています

◆『みんなが主役の崇仁のまちづくり』（経過報告）の発行にあたって

7月1日に発足した「崇仁まちづくり推進委員会」は半年をむかえ、住民のみなさんにこれまでの経過を報告する小冊子を発行することになりました。

委員会では、京都市と協議の上で「住民による崇仁のまちづくり」を推進するにあたって、学習会を重ねていますが、「崇仁のまち」のなかには、「人口の激減」「住宅の整備」「環境保全」「教育、高齢者問題」など取り組まなければならない問題がたくさんあり、早急に解決しなければならないと考えています。また、全体の計画が明確でないままで今日まできているため、推進委員会では全体を見据えた計画づくりをもっとも大事な仕事としてとらえ、活動しています。

これらの問題を考えていくために、委員会では崇仁地域の「良いところ、悪いところ」を見つけ出し、「崇仁のまち」を再発見するワークショップという取り組みを行っています。この取り組みでは、委員一同が楽しく「まちづくり」に参加し、各町内の事情も盛んに話題に上っています。

発足以来、委員会では崇仁のまちづくりの基礎となるべきキーワードを見つけ出すための議論を重ねてきましたが、これからの崇仁のまちづくりの方向がある程度見えてきたのではないかと思います。今後の展開が大いに期待されます。

委員会では、今後各町内での定期的な懇談会や「まちづくりニュース」の発行などを行い、崇仁のまちづくりが「いつまでも安心して暮らせるまち」をめざして、住民のみなさんの考えや、専門家の意見なども取り入れながら取り組んでいく決意です。

1996年12月

崇仁まちづくり推進委員会々長 奥田 正治

◆崇仁まちづくり推進委員会委員一覧

役 員

会長	奥 田 正 治
副会長	上 田 謙 治 岸 田 力 二 木 下 憲 二
事務局長	野々口正吾
事務局次長	菱田不二三 山 内 政 夫
会計	前 川 正 明
会計監査	岸 田 明 平 岡 一 美
理事	若 林 和 夫 山 口 隆 司 山 形 一 男 辻 浦 厚

委 員

吉 本 正 夫 岸 田 一 彦	小 島 秀 昭 勝 本 秋 子
(小稲荷町) 鍵 村 栄 一 竹 口 一 等	(川 端 町) 丸 山 修 博 正 木 博
(郷之町) 徳 岡 暁 尚 鈴 木 弘 美	(西之町) 福 田 健 一 松 本 正 英
(上之町) 向 本 伊 平 吉 川 富 雄	(東之町) 谷 口 義 博 速 見 キ ヨ 子
(下之町) 高 橋 の ぶ 子 池 田 正 治	(屋形町) 竹 田 三 郎 丸 矢 勉

◆崇仁のまちづくりに対する諸先生方の提言

リム・ボン氏（立命館大学助教授） 『まちづくりと住民参加』

（7月1日設立総会及び7月22日第2回委員会）

- 住民参加でまちづくりを進めていく方法や、他の地域での具体的な取り組みが紹介されました。自分の目でもう一度崇仁地区を見直し、再発見することからまちづくりを始めようというお話をいただきました。また、まちづくりの成功のためには、素直に議論できる雰囲気を作る事が大切だということも教えていただきました。

後藤晨次氏（文教大学学長補佐） 『夢と希望に満ちた

「幸福物語」を現実』

（8月2日第3回委員会）

- 崇仁地区・周辺地区の変化のもと、老人問題など現在かかえている問題を踏まえ、どのように「夢」のあるまちづくりをしていくか。また、最も事業の遅れた崇仁地区の改良事業についても、「最後にやるから最高のものを」との観点で取り組んでほしいというお話をいただきました。

講演会

大森芳明氏（崇仁診療所所長） 『高齢化社会とまちづくり』

（9月5日第4回委員会）

- 地域での診療活動を通じて、例えば市営住宅にエレベーターや風呂が無い事などが暮らしにくさにつながっている点、特に、お年寄りにとっては生活していく事そのものが困難になってきている事例が紹介され、お年寄りの目線でのまちづくりについてお話をいただきました。

山本敏貢氏（総合社会福祉研究所 主任研究員）

『住民が主人公のまちづくりを』

（10月15日第6回委員会）

- 崇仁地区の改良事業の歴史に触れながら、「いつまでも安心して住み続けられるまち」をつくるには、先ず、地域住民の側からまちづくり構想を提案していかねばならないというお話をいただきました。

◆委員会のこれまでの活動経過

H.8.6.19 「三団体」協定書調印式
6.19 「要請書」市長提出行動
7. 1 設立総会
7. 1 「崇仁まちづくりニュース」No1発行
7.22 第2回委員会
8. 2 第3回委員会
8.19 「崇仁まちづくりニュース」No2発行
9. 5 第4回委員会

9.12 第5回委員会
10.15 第6回委員会
10.24 第7回委員会
11. 7 第8回委員会
11.21 第9回委員会
11.22 「崇仁まちづくりニュース」No3発行
12. 5 「崇仁まちづくりニュース」No4発行
12.26 「みんなが主役のまちづくり」冊子発行

※ほかに、会の活動方向を検討している「企画会議」、会議の持ち方、ニュースの発行などを検討する「事務局会議」を随時行っています。

崇仁がこんなまちになったらいいな

まちづくりのキーワードを考えました

委員会のなかで、「崇仁地区でどういう問題が起きているのか」
「まちづくりを進めていく上でのキーワード」について議論した
ところ、こんなまちにしていきたいといった、いくつかの視点が
浮きでてきました。

高齢者が安心して暮らせるまち



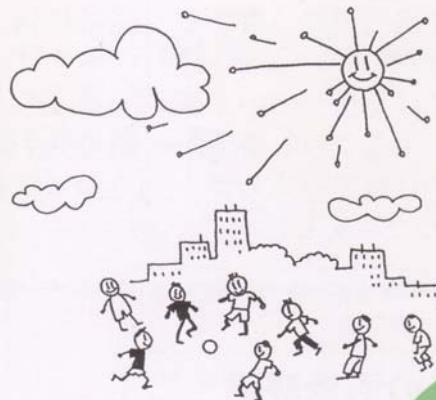
子どもに夢を
もたせて
やりたいな

若者が住み続けたいまち
若者が住み続けられるまち

年よりも若いもんも
楽しく住めたら
ええなあ。



ほんまに
ねエ



みんなで遊べる
公園が
あったらなー

住民どうしやまちを訪れる人が
交流するまち



住み続けることができる住まい

キーワードさがし

キーワードとは・・・

まちづくりを進めていく上で、その方向性を定めるために手掛かりとなる言葉。この「キーワード」から、崇仁のまちの課題を見つめなおし、これからのまちづくりにおいて、何が大切で、どのように進んでいけば良いのか考えたいと思います。

子育て世帯を支えるまち
「子供がのびのびと育つまち」

生活を支える「生業」^{なり かい}が
活気づくまち



買いものなんかの
生活が便利に
なれば
ええね！

自分たちのまちを自分たちで
支えていくまち



日々の生活を支える基盤の
整ったまち

水・水辺-高瀬川の流れ

第1回ワークショップのまとめ

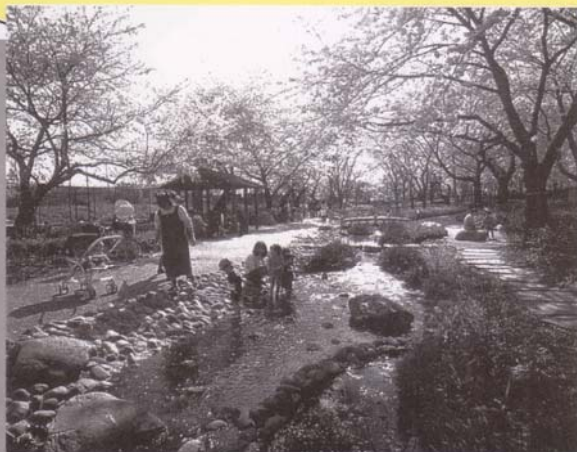
子供が川に入って水遊び
できるようになったら
いいな

川と公園が一体的になった
楽しい場所にしたら、たくさんの
人が遊びに来ると思う



四季の移り変わりを感しながら
高瀬川をゆったりと散歩できたら
いいな

桜やホタルが楽しめれば楽しいね



高瀬川について考えました

まちづくり推進委員から高瀬川に対す
たくさんの提案の中から下のよう
今後、このキーワードから、住民の皆
考えています。

新しい高瀬川を考

- ① 《子供からお年寄
出来る水辺づく
⇒ 「安全性」
- ② 《高瀬川の歴史を
⇒ 「歴史」
- ③ 《四季の移ろいが
れるまちづくり
⇒ 「季節」
- ④ 《さまざまな人が
⇒ 「交」
- ⑤ 《みんなで大切に
⇒ 「自主管

高瀬川の整備の

まちづくり推進委員会
りくねったままではなく、
すばらしい高瀬川につく
見が出され、その方向で
めていくことになりました

そうする事によって、
りの工事も進み、また崇
幅広く考えられ、高瀬川
考える事が出来ます。

崇仁のまちの骨格をな
委員会の考え方を示し
ていただきたいと考えて

いろいろな考えが提案されました。
くつかのキーワードが整理されました。
さんと新しい高瀬川を作っていきたいと

考える時のキーワード

「今まで安心して楽しむ事
り」

・ **親水性** 」

「伝える川づくり」

性 」

「川辺やまちの中に感じら

感 」

「交流できる水辺づくり」

流 」

「作る美しい水辺づくり」

理 」

基本的な考え方

では、「今の高瀬川を曲が
真っ直ぐな川の形にして、
かえていこう」という意
高瀬川についての検討を進
こ。

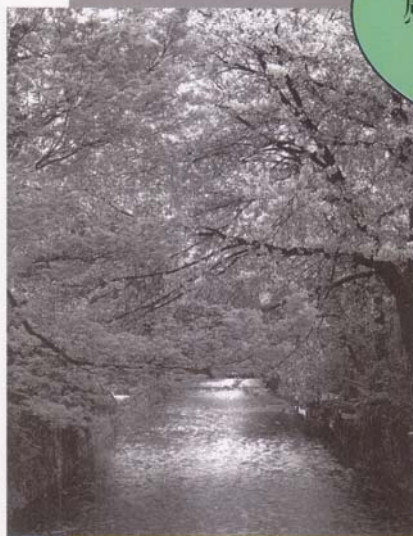
現在行われている河原町通
このまち全体の土地利用も
いろいろな整備の仕方を

高瀬川ですから、ここで
、住民の皆様にご理解し
ります。

ワークショップとは・・・

共に議論したり、実際にまちを見たり
といった共通の体験のなかで、共同で
まちづくりの提案をまとめるなどの作
業をするあつまり。

住民が参加するまちづくりの手法とし
て、最近注目されています。



高瀬川の歴史が
感じられるような川の
雰囲気になりたいなー

子供からお年寄りまで、
みんなが安心して楽しめる
高瀬川になったらええねー

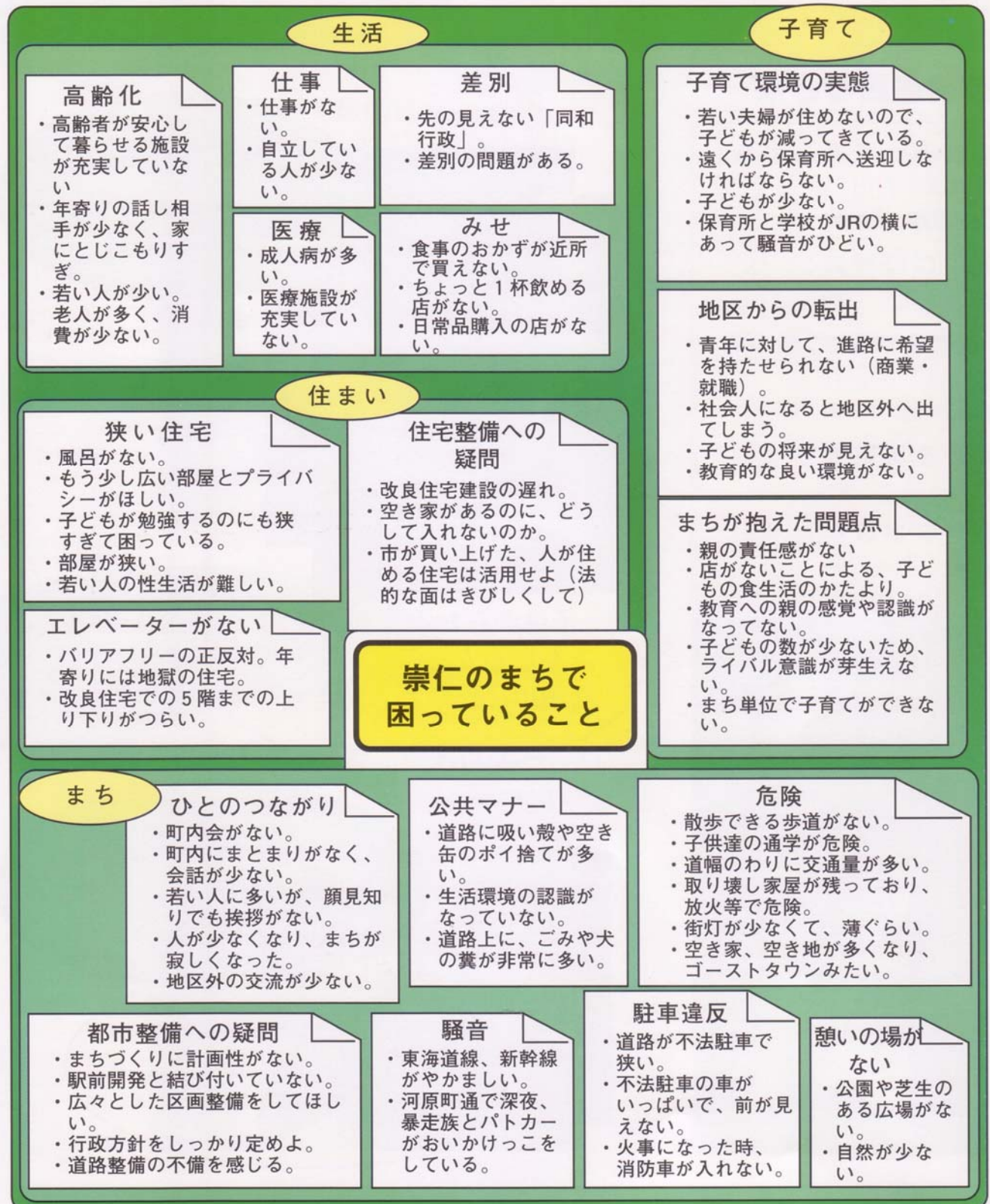
崇仁の外からも人が集まり
崇仁の人と交流できたら
楽しそうやなー

ゴミの無いきれいな高瀬川に
なったら気持ちいいね。
ゴミを捨てたらあかんね

住み続けられるまちにしたい 第2回ワークショップのまとめ

「まち」や「住まい」について考えました

『住み続けることのできるまち』と題したワークショップにおいて、崇仁のまちで「困っていること」「いいところ（自慢できるところ）」を委員の方にいろいろ出していただき、その意見を整理しました。



整理された崇仁の問題点や、特徴を踏まえて、今後皆さんと一緒にまちづくりを進めていきたいと考えています。

運動

- ・解放運動の歴史がある。
- ・七条水平社があった。
- ・かつて「崇仁教育」があった。
- ・差別に打ち勝つ運動がある。

祭

- ・祭りが帰ってきた。
- ・みこしが出来た。
- ・ダンジリばやしが復活した。
- ・学区行事で百人以上集まるのは素晴らしいことだ。

便利

- ・交通の便は非常に良い。
- ・JR京都駅、京阪の駅が近い。
- ・河原町北行きのバス停まで10秒。
- ・町名だけで郵便が届く。

歴史・人情

- ・信仰があつい。
- ・小さな路地が多く、ゴタゴタして抜け道が多い。
- ・まだまだ瓦の屋根が残ってる。
- ・郵便局（塩小路）の前のまちなみが良い。
- ・地藏さんが多い。
- ・町内独特の方言がある。
- ・まだまだ2階から、東山と北山の連山が見える。
- ・歴史的資料が多い。
- ・柳原銀行がある。

ひとのつながり

- ・近所のおじさんたちが地藏盆で遊んでくれる。
- ・力を合わせようと言う人がいる。
- ・外出の時、鍵をかけなくてよかった。
- ・昔、近所の家でご飯が食べられた。
- ・人情があつい。
- ・けっこう『構いたがり』（世話好き）がいる。
- ・最近は閉鎖的だが、昔は人情味があった。

おまけ

- ・騒音に強くなった（なってしまった？）。
- ・ゲートボールが強い（年寄りが多い？）。
- ・電車が見える。

崇仁のまちのいいところ

- ・昔を思い出して
- ・今でもこんないい所やいい面が、数多く残っている。
- ・よそにはない「うまいもの」がいっぱい。
- ・そしてまちづくりの会ができて、皆で話し合える。

まちづくり

- ・新しいまちづくりができる。
- ・実現性のあるまちづくりの議論ができる。
- ・まちづくりの会ができた。

水辺・川

- ・学校に川が流れているのは、日本で1カ所だけ。
- ・塩小路高倉から北側の高瀬川の風景が良い。
- ・鴨川に近い。
- ・昔、高瀬川で泳げた。
- ・高瀬川に鳥がいること。
- ・昔、鴨川の土手でソリ遊びができた。
- ・高瀬川の水が以前よりきれいになった。

施設の充実

- ・施設が多い。
- ・体育館が立派。
- ・市立浴場があり、憩いの場となっている。
- ・浴場は将来、憩いの場として充実（カラオケなど）させたい。

うまいもの

- ・通称「マンボ焼」がある。
- ・「ちょぼ焼」は、崇仁にしか店として出ていない。
- ・お好み焼が、どこもうまい。
- ・おいしい食べ物（お好み焼、ホルモン、ちょぼ焼）を他地域に紹介したい。
- ・町内独自の食べ物がある。
- ・上質のホルモンが近所に売っている。

高齢社会を迎えて 第3回ワークショップのまとめ

高齢化について考えました

『高齢社会を迎えて』と題したワークショップにおいて、高齢社会を迎えて「不安に思うこと」また、そのために「取り組むべきこと」を委員の方に出していただき、その意見を整理しました。

不安に思うこと

() 内は委員の年齢

介護

- ・病気になった時が一番不安 (49才、66才)
- ・共稼ぎのため、年取った両親をどうするか。
- ・ボランティア活動をする若い人が少ない。(44才)
- ・在宅を支える地域になっていない。(46才)
- ・老人ホームに入りたいがらない。(49才)
- ・定期的に立ち寄ってくれるヘルパーがほしい。
- ・親の世話を十分にできるか心配。(41才)
- ・身体が動かなくなったら、誰が面倒を見てくれるのか。(41才、49才、55才、66才)
- ・食事の世話を誰がしてくれるのか。(50才)

健康

- ・診療所は昼間だけなので、緊急の時に対応してくれる病院がない。(49才)
- ・病院、医者をおそれて、薬ばかりにたよっている。(49才)
- ・診療所の待ち時間が長い。(46才)
- ・食生活のアンバランスさからくる病が多い。(49才)
- ・いつまで健康でいられるか心配。(50才)
- ・近くに入院できる病院がない。
- ・ボケにならないか心配。

安全

- ・大きな道が怖い。(49才)
- ・火事や地震の時年寄りばかりでは不安。(49才)
- ・道路の段差が怖い。(55才)
- ・高層ビルで怖い、火災時が不安。(55才)

住居

- ・エレベーターをつけてほしい。
- ・階段の上り下りがつらい。(49才)
- ・住居の手入れが積極的に行えない。(68才)
- ・洋式トイレでないのしんどい。(45才、64才)
- ・トイレに手すりがない。(49才)

収入

- ・退職後の生活が不安。(41才)
- ・退職後の年金の額。(49才)
- ・貯えがなく不安。(64才)
- ・年金では生活できない。(46才、49才)

みせ

- ・日常生活に必要な買い物ができる店が近所がない。(49才、64才、66才)

大変です…

- ・テレビ番組のパターンが決まっていて、変えると怒る。(49才)
- ・孫にべったりで、最近の教育についていけない。(49才)
- ・一度言い出したら、頑固で言うことをきかない。(49才)

ふれあい

- ・もっとふれあいがほしい。(64才)
- ・子供がまちから出ていくので寂しい。(48才)
- ・子供と一緒に住みたい。
- ・地域の人とのつながりが薄くなっている。(63才)
- ・近所に同世代の人間が少ない。(44才)
- ・ぼけない対策をみんなでやりたい。(49才)
- ・思いやりのある人をつくる必要がある。(63才)
- ・親子で心の通じ合える関係でいたい。(43才)
- ・一人で死んでいてもわからない。
- ・昼、おしゃべりのできる人がいない。(48才)

今後、崇仁のまちを、高齢者の方にも住みよいまちとするために、これらの意見に加えて、多くの人の意見をいただきたいと考えています。

取り組むべきこと

() 内は委員の年齢

都市整備（安心して、快適に暮すために）

住居

- ・住宅にエレベーターをつけてほしい。(41才、48才、55才、64才、66才)
- ・各世帯に非常ボタンの設置。(49才)
- ・ベッドが置ける洋室が1間欲しい。
- ・トイレを洋式にして欲しい。(48才)
- ・車椅子で入れるトイレの設置。(55才)
- ・トイレに手すりをつけて欲しい。(48才)

道路

- ・道路の段差をなくす。(55才)
- ・歩きやすい歩道や道路を作る。(49才)
- ・救急車、消防車の通れる道をつくる。(55才)
- ・駐車場をふやして、不法駐車をなくす。(55才、48才)

施設整備

- ・地域の中にデイサービスセンターをつくって欲しい。(55才)
- ・医療システムの拡大。(55才)
- ・高齢者のよろず相談所をつくって欲しい。(44才)

みせ

- ・公設市場が欲しい。(49才、59才、68才)
- ・安くておいしい食事を配達してくれる店が欲しい。(44才)
- ・スーパーマーケットが欲しい。(49才)

憩い

- ・憩いの場をつくって欲しい。(55才)
- ・いろいろな世代が集えるサロンをつくって欲しい。(50才)

展開（むすび、ひろげる）

ひとつづくり

- ・年代を超えたコミュニケーションの確立。(41才、48才)
- ・昔のように人情味のあるまちに。
- ・高齢者に理解の深い役員や指導員の養成。(49才)
- ・ボランティアの養成。(39才、43才)
- ・高齢者への接しかたなど、若い人への教育機会をつくる。(63才)
- ・子供達と交流したい。(48才)

施設活用

- ・福祉センターの中味の充実を図り、もっと活用する。(46才、48才)
- ・地域住民への情報提供など、若い人への教育機会をつくる。(63才)
- ・保健婦さんの自宅訪問を定期的に。(49才)

組織づくり

- ・高齢者対策のボランティア組織をつくる。(39才、44才、63才)
- ・福祉団体のネットワーク化を図る。(41才、50才)
- ・ボランティア組織に対する行政の援助。(45才)



将来は僕達も高齢者
になるから
ちゃんと考えんとね



これからの取り組み

第3回ワークショップの光景



今後の委員会の取り組みとして、現在のところ下記のようなものを、平成9年の2月～3月頃に開催したいと考えておりますので、積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

崇仁タウンウォッチング

～私たちのまち「崇仁」をみんなで歩いて、
まちの良いところを見つけましょう。
新しい「崇仁」が発見できるかも・・・

崇仁まちづくりビジョンゲーム

～崇仁の将来について楽しく語り合い、
みんなで崇仁のまちの「物語」をつくりま
しょう。



※まちづくりニュースは随時発行いたしますので、是非、お読みください。

まちづくりに関するご質問や、委員会に対するご意見などは隣保館までお問い合わせください。

崇仁隣保館

京都市下京区下之町6-3

TEL 075-371-8220 FAX 075-371-7708

発行者

崇仁まちづくり推進委員会

会長 奥田正治

企画・編集

アルバック(株)地域計画建築研究所

事務局所在地

京都市下京区下之町6-3 崇仁隣保館内

発行日

平成8年12月26日